SY4-3

在宅医が看取りの場で行う「いのちの授業」

石賀 丈士

いしが在宅ケアクリニック

病院で8割が亡くなり、自宅で家族に囲まれて亡くなる人は1割程度というおかしな社会を変えるために、2009年7月三重県四日市山城町に「いしが在宅ケアクリニック」を立ち上げました。2021年現在、スタッフ総勢51名(医師10名、看護師15名、メディカルアシスタント4名、医療事務15名、庶務2名、MSW1名、ケアマネジャー3名、管理栄養士1名)で運営しています。当院は四日市市の北端に位置し、四日市市、桑名市、菰野町、東員町、朝日町、川越町と広範囲にわたって在宅医療を展開しています。現在は月に700名以上(自宅7割、施設3割)の方々に訪問診療を行っています。これまでに訪問した患者は5100名以上(4歳～107歳)、在宅での看取りは3150名以上の経験があります。これらの経験や実績を活かして、看取りの現場で子供たちのいのちの大切さや、人が亡くなる時の経過や心構えなどの教育を行っています。また在宅医療や在宅看取りを実際に経験できない子供たちのために、小中学校を回っていのちの授業も行っています。